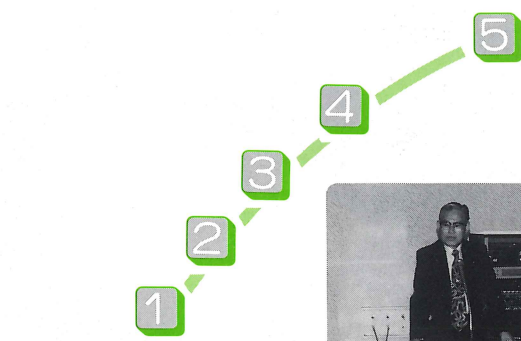


1999年人権カレンダー作成 (12月)



人権フェスティバル (12月)

「地域から心をつなぐ人権の輪」をテーマにメシアターでは、「今こそ人間心意気～水平で勝負しろ～」と題して、諸口あきらさんが講演。また、久保比呂誌さんらの「日本の音」も心に響きました。



12 駅頭啓発活動 (12月)

国際交流フェスティバル (11月)

11 アジア・太平洋人権教育国際会議 (11月)

10 地域安全・青少年育成市民大会 (10月)

協力企業部会設立 (9月)



憲法と市民のつどい (5月)
「人間への尊敬～わたしの出会いから～」と題して、福田雅子さんの講演。きれいな歌声は、北摂よつば青少年合唱団。



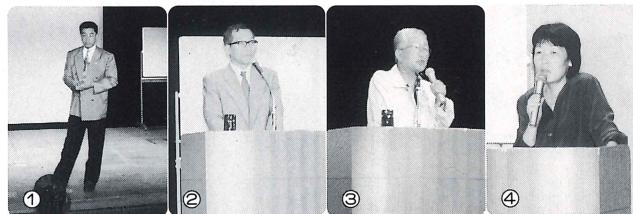
ハートフルコンサート (7月)



広島平和大使 (8月)
世界の恒久平和実現への願いをこめて広島平和祈念式に参列していただきました。

地区委員会代表研修会 (8月)

市民ひゅーまんセミナー (9月)
4回にわたって人権の課題について、専門の方をお招きして、多くの市民の方とともに考えました。



- ①「障害者と生涯スポーツ」高橋 明さん
- ②「化学物質による環境破壊」原 強さん
- ③「人間 根にあるもの」木津 譲さん
- ④「CAP」田上 時子さん

発行 / 吹田市人権啓発推進協議会
☎564-0041 吹田市泉町1-3-40
☎(06)6384-1231(代) 内線2596～8

(再生紙を使用しています)

吹田市 人権協だより



じんけんネット吹田

No. 6

平成11(1999)年3月



ごあいさつ

人が人としてなら差別を受けず、全ての人が持っている“人権”を守ろう！をスローガンに、自主的な市民組織として、吹田市人権啓発推進協議会(人権協)が1996年に生まれて3年がたちました。

昨年は「世界人権宣言50周年」の年でした。皆様のお陰をもちまして、記念行事を無事終えることができました。また、各地区委員会におかれましても活発な活動が実施されました。重ねて厚くお礼申し上げます。

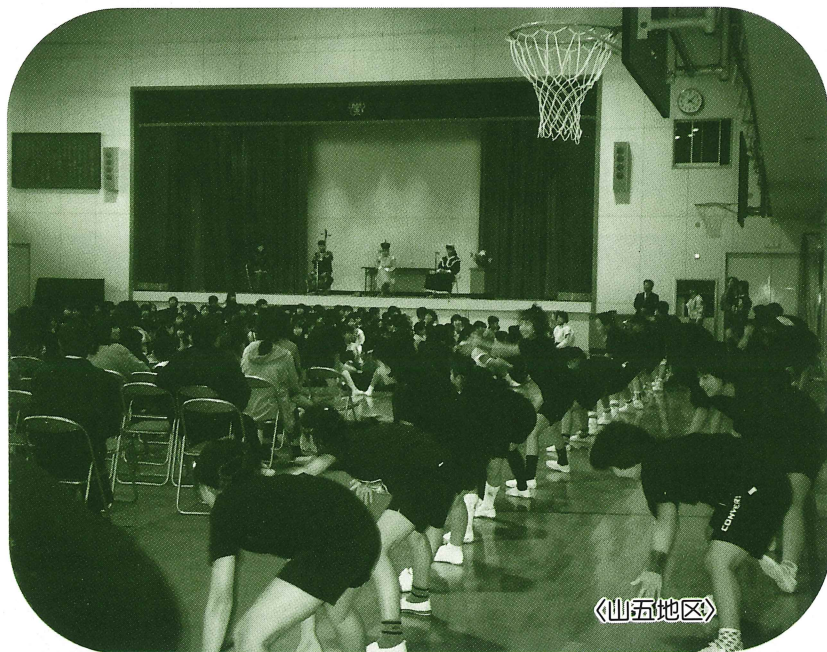
今年度の特筆すべき成果は、本協議会に新しく「協力企業部会」が発足したことでした。企業に働く人々と共に地域での活動がますます活発化することを願っております。

今後も本協議会に一人でも多くの皆様のご参加をいただいて、共に手を取り合い、人に対して“優しい心”をもち続けましょう。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



吹田市人権啓発推進協議会

会長 影山 義紘



〈山五地区〉

モンゴル民族音楽コンサート

平成10年11月20日にモンゴル民族音楽出前公演のコンサートを、人権協山五地区活動として、山田第五小学校体育館で実施いたしました。

山田第五小学校の児童が現在モンゴルについて勉強中ということで、児童も多数参加し、地域の住民と共に400名程の参加で行われました。

独特の形や音色の楽器、馬頭琴、口琴。体育館に響きわたるような迫力あるホーミーというのど歌や民謡に聞き入りました。どの曲もモンゴルの草原を吹きぬける風のように、大人も子どももさわやかなひとときを過ごしました。また、通訳の方のお話で、文化や習慣の違いも勉強でき、有意義なコンサートとなりました。最後に山田第五小5・6年生がソーラン節の力強い踊りで締めくくってくれました。

(小澤雅子)

'98 吹六地区ふれあいまつり

今までの堅いイメージを脱し、楽しく温かな出会いをもとめて、秋晴れの一日、吹六地区ふれあいまつりを行いました。

アジア各国の紙しばいをする髭のおじさん。ストレッチ体操を教えてくださいと生々とした女性。掘り出し物をリサイクル展示する高齢者の笑顔。作業所でつくった手作り作品を並べる若者。人権協のパンフレットを配布する老若男女。PTAのお田さんやその間を駆け回る子どもたち等々、おおぜいの方の参加と熱気で成功させることができました。また、フリーマーケットで得た売上金については、当地区の作業所に寄贈させていただき、まつり終了後も出会いを深めることができました。

(福井博夫)



〈吹六地区〉

出 会 い 発 見 感 動

人権よもやま話～みんなが楽しい町に～

平成10年11月14日(土)午後7時より地区諸団体代表者、指導者を対象に、地区市民ホールで人権啓発研修会を開催いたしました。講師にリバティおおさか(大阪人権博物館)ガイドボランティアの加藤弘道先生をお迎えいたしました。「人権よもやま話～みんなが楽しい町に～」と題して、家庭・学校・社会教育分野での人権尊重のあり方について幅広い講話をいただきました。

故なき差別発言・差別事象が今なお後を絶たない状況の中で、それぞれの団体指導者として、いろんな機会を通して人権啓発を推進していく必要性と役割について指針を得たような気がいたします。「ひとの痛みを吾がこととして」「ひとりとはみんなのため・みんなはひとりのために」の合い言葉で、明るい地域づくりにつとめて参りたいと存じます。

(名出汨路)

協力企業部会設立

皆さん、はじめまして！ 協力企業部会が昨年9月に79社が会員となって発足いたしました。

企業も一人の吹田市民として、皆さん方の地区・ブロック活動に参加させていただき、心ふれあう住みよい街づくりをめざして、皆さん方と手を携えて活動を展開したいと願っています。

本来、企業は「人による、人のための、人の集まり」ですから、職場内にとどまらずに、もっと早くから地域の皆さん方との交流を深めるべきであったと思っています。

より豊かな生きがいに貢献し、かつ人に優しい、信頼と評価をいただける企業でありたいと考えていますので、企業も皆さん方の仲間の一人として、叱咤激励とご協力をお願いいたします。

(柳瀬 将)



〈東山田地区〉

中国のギョウザ作りと生活について

昨年11月地区公民館で、中国ウイグル自治区から来日し、大阪市立大学大学院で研究している陳磊^{チンライ}さんを講師に迎え、講演会とギョウザ作りを行いました。陳さんはスライドを用いて故郷の自然と文化を流暢な日本語で紹介してくださいました。自治区には西遊記に登場する火焰山、氷河、草原、砂漠、オアシスなどがあること、そこにウイグル族をはじめ、10以上の民族が共に生活していることなどが紹介されました。講演後、皆で牛肉を使った珍しいカボチャのギョウザなどを作りました。ウイグルではギョウザはおめでたい時に作り、焼くのではなく、ゆでるか蒸すことを知りました。4時間ほどの集いでしたが、ウイグルについて多くのことを学びました。

(神阪盛一郎)



〈高野台地区〉



〈協力企業部会〉